

## ＜基本計画＞

### モバイルフィルタリング技術の研究開発

#### 1. 目的

携帯電話等からのインターネット接続において、児童が安心してインターネットを利用できる（保護者等が児童に安心してインターネットを利用させられる）環境を整備するために、フィルタリング（選択的遮断）技術の実現・普及を図ることを目的とする。

また、レイティング（ウェブコンテンツの格付け）・フィルタリング技術の新たな国際標準となることが期待される「次世代PICS（仮称）」を、日本が先行するモバイルインターネット分野において先導していくことにより、国際競争力の強化と経済活性化に貢献する。

#### 2. 政策的位置付け

「インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律（出会い系サイト規制法）」の第5条において、「国及び地方公共団体は、児童によるインターネット異性紹介事業の利用の防止に関する国民の理解を深めるための教育及び啓発に努めるとともに、児童によるインターネット異性紹介事業の利用の防止に資する技術の開発及び普及を推進するよう努めるものとする。」と定められている。

また、「出会い系サイト規制法」に対する附帯決議（参議院内閣委員会、平成15年6月5日）においても、「政府は、…インターネット接続事業者等による自主規制措置が、児童によるインターネット異性紹介事業の利用防止及び児童の保護に資することにかんがみ、フィルタリング機能を始めとする児童の利用防止のための技術開発や普及について官民一体となって取り組むこと。」とされている。

さらに、e-Japan 重点計画2003（平成15年8月8日決定）において、インターネット上の違法・有害情報対策については、「2005年度までに、モバイルフィルタリング機能の実現に向けた検討や、…を行う。」とされている。

#### 3. 目標

児童を有害コンテンツから保護し、その健全な育成を図るため、パソコン向けに実現されている有害コンテンツのフィルタリング機能を、モバイル（携帯電話、PHS端末など）向けに実現すべく、研究開発を行う。

#### 4. 研究開発内容

##### ① 概要

インターネット接続が可能な携帯電話を中心とするモバイル端末の普及において、青少年の健全な育成および今後のモバイル端末向けウェブコンテンツの進展を目指して、モバイル端末において、ウェブ閲覧者によるコンテンツの受信制御を可能とする国際的標準技術の開発を行う。さらに、モバイル端末向けレーティング(ウェブコンテンツの格付け)およびフィルタリング(選択的遮断)を可能とするシステムの開発を行う。

## ② 技術課題及び到達目標

### ア) モバイルフィルタリング標準技術

#### (技術課題)

インターネット上のウェブコンテンツに対し、アクセスコントロールが可能な標準技術として、World Wide Web Consortium(以下W3C)が平成7年に策定した the Platform for Internet Content Selection(以下PICS)がある。PICSの特徴は、レーティングとフィルタリングを分離することで、情報発信の自由を奪うことなく、ウェブ閲覧者が設定するレベルにあわせて情報の受信を自動制御することを可能とすることにある。また、格付け基準を受信者が選択することも可能である。

現行PICSは、カテゴリ情報及びレベル情報のみの記述が許される記述方式であり、携帯電話コンテンツの代表である出会い系サイトなどを含む掲示板、次世代携帯電話のコンテンツとして予想される動画やゲームなどを的確に表現することが困難である。また、モバイル端末のボーダレス化により、国際的に通用する記述方式が必要となっている。

本研究開発では、PICSの特徴である、情報発信の自由とウェブ閲覧者によるコンテンツの受信制御の概念を維持しつつ、携帯電話コンテンツを的確に表現するための標準技術の仕様開発を行う。具体的には、モバイルフィルタリングシステムの全体アーキテクチャ(フィルタリング方式、スケーラビリティなど)を検討するとともに、ウェブコンテンツ情報の記述方式としてXML(eXtensible Markup Language)及びRDF(Resource Description Framework)を採用することで、様々なコンテンツの表現を可能とする次世代PICS(仮称)仕様を策定する。

#### (到達目標)

策定した仕様がW3Cの勧告候補(Candidate Recommendation)として採用されることを目標とする。

### イ) モバイルフィルタリングシステム技術

#### (技術課題)

モバイルフィルタリング標準技術で策定した仕様に基づき、モバイル端末において実装可能な、フィルタリング機能の開発とプロトタイプシステムによる実装・実証実験を行う。具体的には以下の機能開発を行う。

#### a. ブラウザのフィルタリング設定機能

モバイル端末のブラウザで、フィルタリングシステムに関する以下の情報が登録可能となる機能を開発し、実装を行う。

・ゲートウェイ※情報 (※モバイル端末用ブラウザからの要求に基づき、フィルタリング

処理を行うサーバのこと。)

b. 端末の識別・認証機能

ゲートウェイにおいて、モバイル端末の利用者情報を識別し認証する機能を開発し、実装を行う。

c. フィルタリング機能

「モバイルフィルタリング標準技術」で検討したフィルタリング方式に基づき、ブラウザまたはゲートウェイにおけるフィルタリング機能を開発し、実装を行う。

d. フィルタリング通信プロトコル

モバイル端末ブラウザ、ゲートウェイ等、各機器間で必要なフィルタリング通信プロトコルを開発し、実装を行う。

(到達目標)

プロトタイプシステムにおいて、携帯電話によるコンテンツフィルタリングが可能であることを示す。更に、プロトタイプシステムを公開し、100人以上の一般利用者にアクセスしてもらうことを目指す。

ウ) モバイルレイティングデータベース技術

(技術課題)

モバイル端末向けのウェブコンテンツは、端末の性質上文字情報を中心としたものが多い。特に、出会い系サイトに代表される掲示板などでは、特殊な用語(隠語)が使われている。これらの文字情報をもとに、有害と思われるモバイル端末向けウェブサイトを識別するための調査・研究を行う。

また、モバイル端末向けのウェブサイトの中は、モバイル端末からのアクセスのみを許可しているサイトがある。このようなサイトの有害情報を収集するための方式の検討を行う。

(到達目標)

モバイル端末向け有害サイトを、500件以上登録するレイティング・データベースを構築し、レイティング情報をオンライン提供できることを目指す。

5. 実施期間

平成16年度から17年度までの2年間

6. その他

特になし。